

# Daily Macro Economic Insights

## 景気動向指数(2025年6月速報)

2025年8月8日

### 一致指数の判断は「下げ止まり」が続くが、先行きは要警戒

#### 6月CI一致指数は生産や出荷の改善により増加

内閣府から2025年6月の景気動向指数が公表された。6月のCI速報値(2020年=100)は先行指数106.1、一致指数116.8、遅行指数112.0となった。先行指数は5月から1.3ポイント上昇し2か月連続の上昇、一致指数は5月から0.8ポイント上昇して2か月ぶりの上昇、遅行指数は5月から1.5ポイント下降して4か月ぶりの下降となった。一時的要因による振れの影響を除くため、3か月後方移動平均や7か月後方移動平均の前月差をみると、CI一致指数の3か月後方移動平均は0.34ポイント上昇して4か月ぶりの上昇、7か月後方移動平均は0.23ポイント上昇し、11か月連続の上昇となった。今回の結果を受けて、CI一致指数から機械的に導かれる基調判断は「下げ止まりを示している」と維持された。5月速報段階では「悪化」となっていたが、確報段階で上方修正され、6月も「下げ止まり」で維持という形だ。

図表1は一致指数の前月差と一致指数を構成する各指標の寄与度をみている。6月の前月差はプラスとなった。プラスとなったのは、一致指数を構成する10指標のうち生産指數、投資財出荷指數、商業販売額(卸売業)、営業利益(全産業)が増加したことが影響している。なお生産財出荷指數、耐久消費財出荷指數、有効求人倍率は悪化した。トランプ関税の影響が今後本格化していく中、特に鉱工業生産の改善が続くかどうかは予断を許さない状況である。今後も引き続き注意が必要だ。

図表1:一致指数の推移とその内訳

		一致指数		生産指數 (鉱工業)	鉱工業用 生産財出 荷指數	耐久消費 財出荷指 數	労働投 入量指 數(調 査産業計)	投資財出 荷指數(除 輸送機械)	商業販 売額(小売業)	商業販 売額(卸売業)	営業利益 (全産業)	有効求人 倍率(除学 卒)	輸出數量 指數
		指數	前月差	前月差の 寄与度									
2023年	2	114.5	1.60	0.45	0.33	0.15	-0.06	0.42	0.24	0.09	0.13	-0.24	0.12
	3	114.6	0.10	0.06	-0.06	0.28	0.08	-0.05	-0.04	-0.12	0.13	-0.10	-0.07
	4	114.6	0.00	0.04	-0.08	0.10	0.00	-0.10	-0.18	-0.12	0.12	0.03	0.20
	5	115.2	0.60	-0.14	-0.09	0.20	0.22	0.04	0.07	0.13	0.12	0.03	0.04
	6	115.1	-0.10	0.12	0.16	-0.05	-0.16	-0.05	-0.02	-0.23	0.12	-0.10	0.05
	7	115.0	-0.10	-0.20	-0.12	-0.23	-0.08	-0.24	0.15	0.09	0.38	-0.09	0.26
	8	115.3	0.30	-0.05	0.18	0.04	0.10	-0.01	0.00	0.05	0.37	0.04	-0.41
	9	115.9	0.60	0.02	0.02	0.05	-0.04	-0.08	-0.08	-0.04	0.36	0.05	0.28
	10	115.7	-0.20	0.16	-0.08	-0.06	0.08	0.09	-0.22	0.09	-0.07	-0.09	-0.07
	11	114.9	-0.80	-0.08	0.07	0.05	-0.08	-0.13	0.14	-0.10	-0.07	-0.22	-0.45
	12	115.9	1.00	0.16	0.02	0.12	0.14	0.45	-0.31	0.06	-0.07	0.05	0.44
2024年	1	113.0	-2.90	-0.62	-0.59	-0.77	-0.40	-0.48	-0.03	0.05	0.09	0.05	-0.26
	2	112.7	-0.30	0.05	-0.24	-0.17	0.24	-0.18	0.26	0.17	0.09	-0.08	-0.36
	3	113.8	1.10	0.47	0.21	0.21	-0.04	0.30	-0.32	-0.27	0.09	0.18	0.25
	4	114.5	0.70	-0.08	-0.05	0.12	-0.04	-0.04	0.09	0.53	0.21	-0.08	0.04
	5	115.5	1.00	0.15	0.36	0.21	0.28	-0.06	0.08	0.14	0.21	-0.08	-0.29
	6	114.5	-1.00	-0.16	-0.33	-0.04	-0.18	-0.30	0.10	-0.40	0.21	-0.08	0.13
	7	115.6	1.10	0.25	0.22	-0.04	-0.02	0.11	-0.11	0.59	-0.10	0.18	0.05
	8	114.0	-1.60	-0.27	-0.39	-0.07	0.06	-0.14	0.04	-0.54	-0.10	-0.08	-0.08
	9	114.4	0.40	0.10	0.32	0.21	-0.14	-0.11	-0.25	-0.08	-0.10	0.18	0.26
	10	115.9	1.50	0.24	-0.12	0.23	0.18	0.38	0.06	0.34	0.22	0.05	-0.11
	11	115.2	-0.70	-0.23	-0.17	-0.17	-0.06	-0.09	0.16	-0.09	0.21	0.04	-0.23
	12	116.4	1.20	-0.04	0.09	0.04	0.08	0.09	0.07	0.00	0.21	0.04	0.53
2025年	1	116.3	-0.10	-0.15	0.36	0.16	-0.18	-0.39	0.10	0.24	0.10	0.16	-0.42
	2	117.1	0.80	0.32	-0.01	0.16	0.10	0.49	-0.32	-0.36	0.10	-0.25	0.51
	3	115.8	-1.30	0.03	-0.45	-0.56	-0.41	-0.26	0.19	0.11	0.10	0.28	-0.26
	4	116.0	0.20	-0.17	0.23	0.24	0.26	-0.29	0.05	-0.14	0.16	-0.02	-0.19
	5	116.0	0.00	-0.03	-0.17	0.18	0.20	0.42	-0.18	-0.19	0.19	-0.34	-0.02
	6	116.8	0.80	0.27	-0.19	-0.18	0.01	0.26	0.01	0.25	0.20	-0.38	0.49

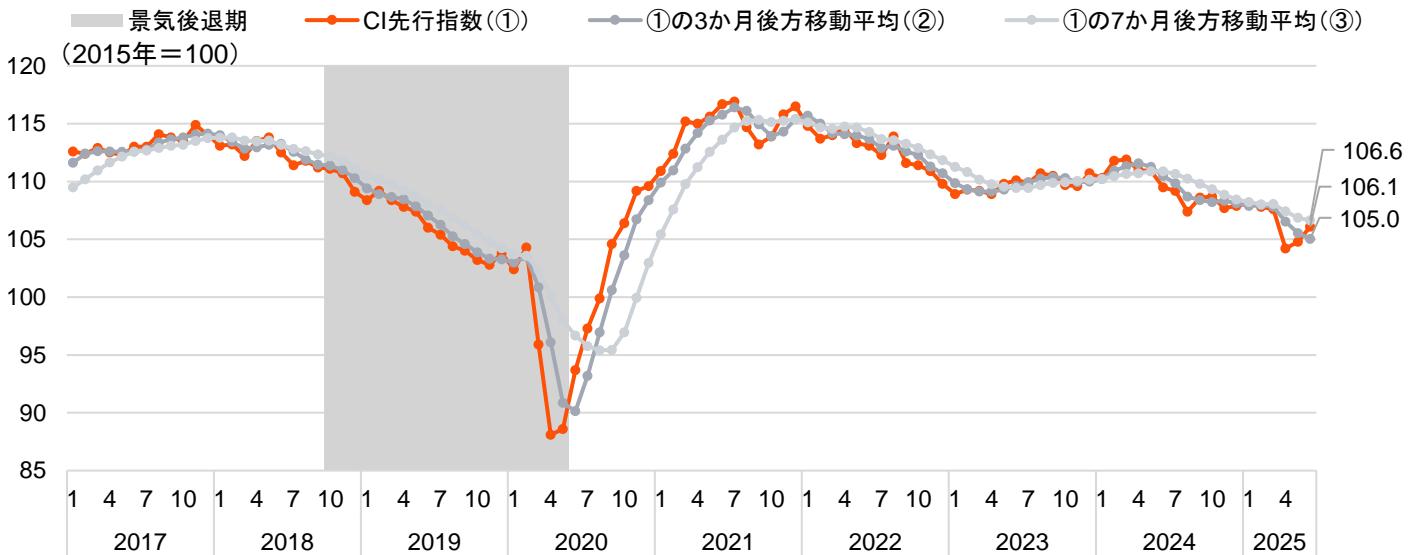
先行指数は下げ止まりが続くものの、下落トレンド払拭には至らず

6月の先行指数は5月に続き1.3ポイント上昇した。2020年4月以来の大幅減となった4月からやや戻した格好である。株価、マネー、商品価格といった資産市場の改善は続いているが、新規求人人数や機械受注、中小企業売上見通しDIといった企業周りへの悪影響は残っている。現状は図表2のとおり、先行指数の3か月後方移動平均、7か月後方移動平均は下落トレンドが明確くなっている状況は変わっていない。引き続き先行指数の増加が続くことが必要である。

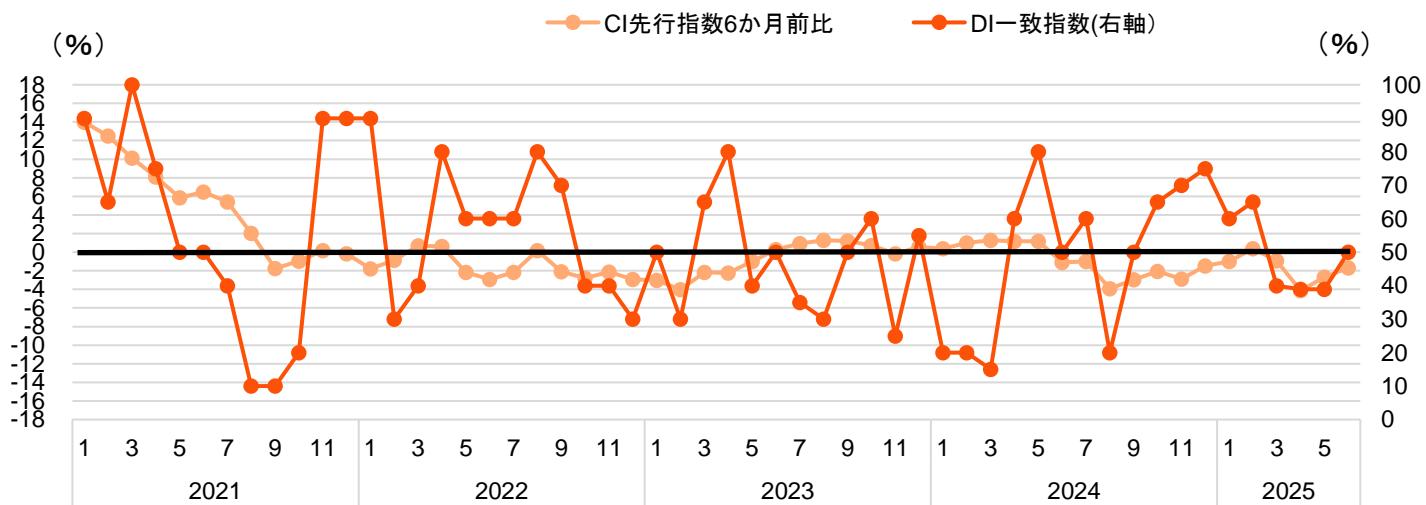
図表3は図表2のCI先行指数の6か月前との変化率と、DI一致指数の推移を示している。CI先行指数6か月前比は景気が今後改善基調に向かうかどうかを意味しており、この値のプラスが続けば、景気の勢いが強いことを意味する。DI一致指数が50%を上回れば、現在の景気は改善しており、50%を下回れば、現在の景気は悪化していることを意味する。以上から、CI先行指数6か月前比がマイナスとなり、DI一致指数が50%を下回る状態が続けば、景気は悪化している可能性が高いということになる。図表3をみていくと、2025年3月になるとCI先行指数6か月前比は低下し、DI一致指数も50割れとなっていたが、6月は5月に続き、CI先行指数6か月前比は低下したがその影響はマイルドで、DI一致指数は50に復帰した。景気の勢いは悪化から中立に向かう動きが進んでいる。

(PwC Intelligence チーフエコノミスト、上席執行役員 片岡 剛士)

図表2:先行指数の推移



図表3:CI先行指数6か月前比とDI一致指数の推移



出所: 内閣府より筆者作成。

## 片岡 剛士 チーフエコノミスト、上席執行役員 PwC Intelligence PwCコンサルティング合同会社

伊藤 篤  
シニアエコノミスト  
PwC Intelligence  
PwCコンサルティング合同会社

PwC Intelligence 統合知を提供するシンクタンク  
<https://www.pwc.com/jp/ja/services/consulting/intelligence.html>

PwCコンサルティング合同会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-2-1 Otemachi One タワー Tel:03-6257-0700